がんばろう

津波なんかに 負けない!

第259号 平成28年6月20日 大船渡市立 末崎地区公民館 電話 (F兼) 29-2955

新

県

道

伴

う

未

整

備

道

路

0

備

を

望

(48)末崎の風土散策 ~細浦駅の歴史たどる~ その2

細浦駅が開設されると、駅 の正面には荷揚げ桟橋が作ら れ、定期航路は釜石から太陽 越喜来から越喜来丸、綾 里から綾里丸等が毎日往復し また近くには細浦タクシ ーも開業し、泊里方面や病人 達に利用されるようになった。



昭和13年11月15日の

料金表には、細浦から盛まで2円50銭、高田までは3円であった (昭和18年には廃業)このように地域産業も大いに発展してきて 昭和33年9月には東北製塩化学工業(株)が設置され、年間2万5 千トンの塩が全国に鉄道輸送されていった。(昭和39年3月閉鎖) しかしその後日本経済は高度成長期に入り、地方産業、道路網など の発展にともない、鉄道利用から次第に自動車輸送へと移行してい った。そして昭和47~48年には細浦駅の存続が問題となり、地 域住民からは駅の廃止と国鉄職員の無人化の反対運動や、陳情書が 提出されている。だが昭和49年には国鉄職員の無配置駅となり、 民間委託人による乗車券の発売がなされている(昭和49年から平成 12年まで)。昭和60年には国鉄再建法が施行されて大船渡線は廃 止対象路線リストとなり、遂には昭和62年日本国有鉄道は終業し JR東日本旅客鉄道株式会社になって、同年6月1日から市の配慮 により管理人が配置されたが、平成23年3月11日の東日本大震 災津波により駅舎は勿論レール等総べて流失している。従来の鉄道 (レール)は、その速さ、安全性、利便性により地域の発展に大きく 貢献してきたが、道路網の整備発展によって自動車等の利用が多く なり、鉄道の運輸利用が減少の一途をたどり、国土交通省、JR東 日本大船渡線沿線自治体首長会の度重なる会議を経て、復旧にかか る負担や乗客の減少を理由に、平成25年(2013)3月2日から



はレールを除去した専用路 一般道を織り交ぜなが ら気仙沼~盛間のBRT運 行が開始された。同年9月 28日には細浦駅舎から8 0 m程小友駅寄りに、BR T用駅舎が新設整備され、 また同日大田に「碁石海岸 口駅」も設置され利用され ている。(聖)

間小災備の進皆もんち的ほるりプ崎付平前が学集区中行一済で木など。、場小近地高 が学集区中行一済で木など。、場小近地高新整か区、14末整校団間で中様んい、境にそ間付学ま区田主備ら上現日崎 整校団間で甲様んい 境にで間付字ま区田主偏ら上現日崎 備前移の取でででる移界分れも近校で上線要に末山在第町 さま転道りあはい。転のけぞなまが、山は地つ崎防課一 便和で住路残るなる早建杭られくでら県災河道で学集と常生とあ付平れそがこと等ち、県工画石碁道外船議前移っ委委員 のではない これではるされております。 る近地でう、ろこの 現垣の「口春回ル洞県での」 3〜3〜3 か区いいそもろ評土在は予さの石移ら渡しま転て員員こら上るうれあは価地、3 定れキ線転終広たで住い会会の中川井野ダり型とや最工でてヤが住点田。の宅るをは かの末山未状ぞり契とや最工でてヤが住点田 ら区崎防整況れ `約進立終区あおン末宅の陸

請分て格の道間校でら上と題こ展期早とや害度災ののバ碁 すをい上通がも前が現山市ものの待めな大時の時発増ス石 る整るげ行完なま県滝防道多未生でるり型に東に展加のま こ備 °す量成くで道田災にい整命きこ、重お日お、が乗で とし市るをし着が `医集分 °備線るとそ機け本け救見りつ にてもか見た工市そ院団かそ区でなののる大る急込入な し頂未否て後す道こに移れの間なまど後乗救震消救まれが てく整か市、るでか入転て一の道と多のり援災火命れにり いよ備考道未二あらる住いつ道路にく復入物の活の、よ、 ろうのえを整つる末と字ろは路に末の旧れ資よ動搬地る大 るうのえを整つる末と宅るは路に末の旧れ資よ動搬地る大と県県る県備の。崎こ付こ、はな崎効をがのう、送場観型いに道と道区新県小ろ近と県、る町果一可輸なこ、産光観う要部しに間県は学まか。道課。発が層能送災の火業客光

会てに頂こ路済さ碁とれスるるそ入道1も通らま問いけてなげだとい盛いの整のら石しば等碁の `れ幅8整行たま題るで市いやけ てこ備活に観て旅の石で観らを0備量めでがのも道し整で 次とは性企光企行乗海、光れ大度もがるよ発はなの、備、 年を重化業や画取り岸如客る型変し少こい生発、い拡復を市 度市要を誘地し扱入で何がよ観えななととし想。幅期間 るりてこ備活に観て旅の石 。 込次とは性企光企行乗海 は末ん年を重化業や画取り岸如客る型変し少 末ん牛を里化業で画取り圧知母の主なして、一発 崎で度市要を誘地し扱入で何がよ観えななととし発 いた。 アンドラスト 市町頂のやな図致場な業れもにバう光るいけですなの当復き道県問るに産い者が、大スにバことれあるおけるといばる考れを整スといばる考れが渡り、できばい整認であるので見しが渡り、できばいないない。 今を交請の 、考付す県 求え金る道 で 末進と備識あに地発あ学い狭市ねしがあ考格そ方現あ 崎委願計しるも域展る場とくがてて乗るえ上れを状る 町員っ画て 。道経 、。所なバ誇くこり 。をげはあの。 らい活けの れる用で格 てわしも上

×「デジタル公民館まっさき」 5 の活動報告

えない生活である。 てえ計区市路船 のをあ市 もで のば (望がし きな 次格 を

詳細は後日改めて、づくり教室」を行うが相談」と「夏休がず相談」と「夏休が すなどでお知らせし、一ジやフェイスブック館で知は後日改めて、ホーム、り教室」を行う計画 8 月 回 6日 活 (±) 5 7 「夏休み親」 日 ッ(目) 記画です。 親子もの とよろ 報7

※

加_

裁会時

タ

ます。内容をペーパーで入手希ます。内容をペーパーで入手をいるテーブルで行った避難所運営の臨場感ある様子を報告していいが火クラブなど22名とボランテ放果などの紹介、自治会、婦人成果などの紹介、自治会、婦人バソコン活用の相談・対応・パソコン活用の相談・対応・ さる、 しました「パソーさる、5月28日 $\overline{\mathcal{O}}$ は内感 公容を 日 { コ • 29 日 シター 開 実 難 じの筛

期い し

加下さい」 な経道具をおせ 場間 \$ 13 7 7 6 時月月月 **6** 23 9 25 る いもご自由にごお持ちください 23 9 25 さとセ 16 日日日 時(土)(土)(土) ン にご

日や の 集 い

に 参 加 賞

ま

全員 参日 3加受付 絡申 1 は込 亀 願 井い ま ま で す

参 無 加 参の電*試加ル位優 加他話事合申イ・ 29 前当込ン第 勝彰料料 アワン賞 第五位・ 位・ 勝 第六位 第三位· ホ第 兀

す末加 **満海細場 満瀬棚 構** が **格** が **は** 民(誰でも参 加できま

い雨 天月日の17 場日 合印 は午 後前 日 8 お時 ے 45 な分

*

会

ラ

シド

ゴ

ル

和 民 ラ**的ン** ・ の ン ド 交健ド ゴ 流康ゴ ルフ大会実施 ののル 場増 フ で進といる。 り親じ 要 を睦 項

し健れお () 東日本大震災終れることとなりました大会がおりました大会がおりました大会がおりました大会がおりました大会がおりました大会がおりました大会がおりました大会がありました。 が、、 を 開 L 休 動 かた。 再止 催 開さ L ま

『7月17日印』グランドゴルフェ 崎体育協 会 **大催** 会

末

図

る融町グ